

※社外向けの「PCアイ」はPDFファイルにて掲載いたします。クリックなどの操作は不可となっております。予めご了承ください。



毎月10号発行（トークの日）

## ◆ 今月のINDEX

バックナンバー  
過去のPCアイは[こちら](#)

2025年3月19日号の内容は：

- PCアイ閲読率
- 特集「能登半島地震ボランティア」
- 祝・金賞受賞「docomo STARTUP CHALLENGE」
- 「ビジネスクリエイトキャンプ」成果発表会
- 「技術LOG」執筆者、大募集！
- 今月のお誕生会！
- 今月のリモートさんリレー
- みんなの投稿コーナー
- 短期集中講座（法務考査発！）
- CSRの森
- NTTPCキドキリレー
- ビバ！ヘルシーライフ
- イベント・セミナー
- 経営会議
- アンケート
- 面接後記

## ◆ PCアイ閲読率

▲ページTOPに戻る

### ◆2月号閲読PV数：533PV（2月19日～3月18日調べ）

※1月号閲読PV数：571PV（1月17日～2月18日調べ）

※社員・派遣社員が対象です。

▲ページTOPに戻る

## 【特集】 手と手をつなぐ、その先の未来へ

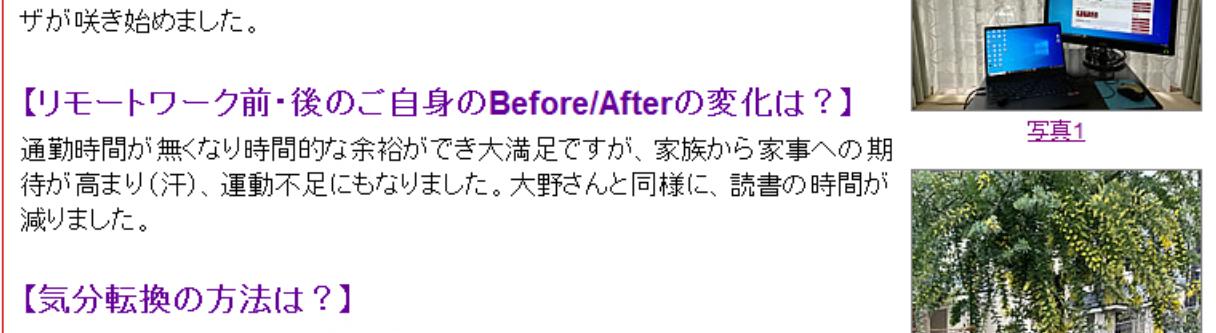
### 能登半島地震ボランティア ～参加レポート～

Volunteer

2024年1月、甚大な被害をもたらした能登半島地震は、私たちの想像をはるかに超えるものでした。

復興にはまだ時間が必要です。そんな中、ドコモグループではボランティア参加者を募り、NTTPCからも12月に6名が2日間参加しました。今回はこの中から5名の方の参加レポートを紹介します。（※敬称略）

◆「工藤TV」での紹介は[こちら](#)。



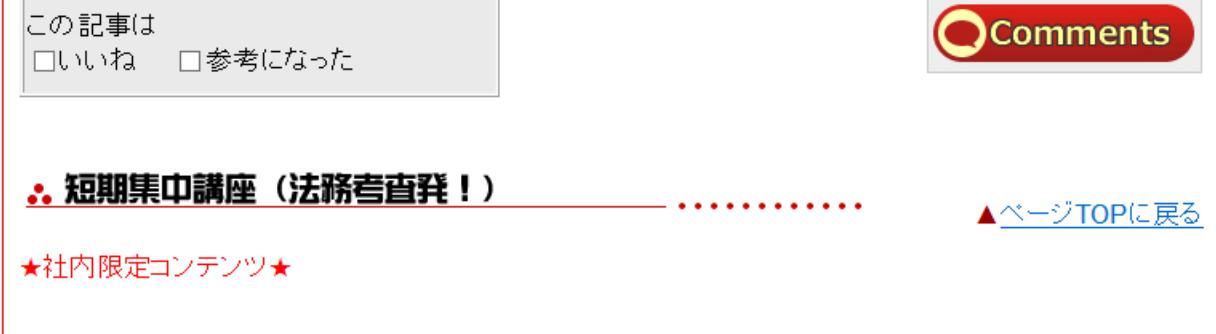
#### ◆ 連田豊

能登は、随分以前に旅行で輪島の朝市、珠洲のラーメンの宿などへ行った思い出があり、今回の地震と大雨で甚大な被害を受けたのは大きなショックでした。

今回、復旧支援ボランティアとして現地へ向いましたが、金沢と能登を結ぶ能登里山海道の志賀町から先が、かなり気をつけて運転しなければならない状況。復旧支援ボランティアの宿泊受け入れ体制現地にいる余力が無く、ボランティアメンバーは金沢等から日々能登へ向かう必要があるなど、復旧のためのインフラが不十分な状態でした。

そのような中でも、災害時に炊き出し活動をされた地元の方が集まって食事処を開店せたり、和洋温泉のホテルのうち4軒が営業を再開したとのニュースもあり、地元の方々は「能登がまた美味しいものを食べに来て欲しい」と頑張っておられます。復興に向けた強い想いと粘り強さを感じます。

インフラ復旧にはまだまだ相当の時間を要する状況ですが、都内のアンテナショップでの買い物(私は主に美味しいお酒)の形でも、復興に協力していきます。

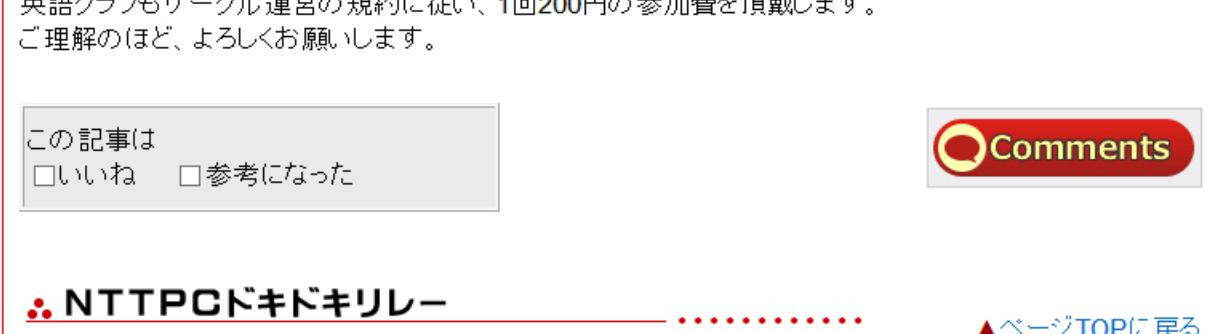


#### ◆ 浅井秀文

能登半島一帯は、世界農業遺産認定の「能登の里山里海」によってたらされる食の恵み、輪島塗の伝統工芸で有名でしたが、昨年の震災、集中豪雨で一瞬にしてインフラが崩壊。立地の条件の悪さから復旧が進まない現状を目の当たりにしました。

輪島市職員の方がボランティアセンターの朝礼で『この取り残された輪島の現状をブログに記入しながらも、もっとSNSで沢山発信してほしい』と熱く話されていたのは印象的でした。

過去に参加したボランティアでは、元祖元気で話しかけたり、SNSでの発信は心を痛めている方々への配慮から慎重に言わせてきましたので、少し戸惑いましたが、SNSがきっかけで、新たにボランティアに参加しようという方が増えたり、何かを感じ少しでも復興の前進にお役に立てれば嬉しいと思います。

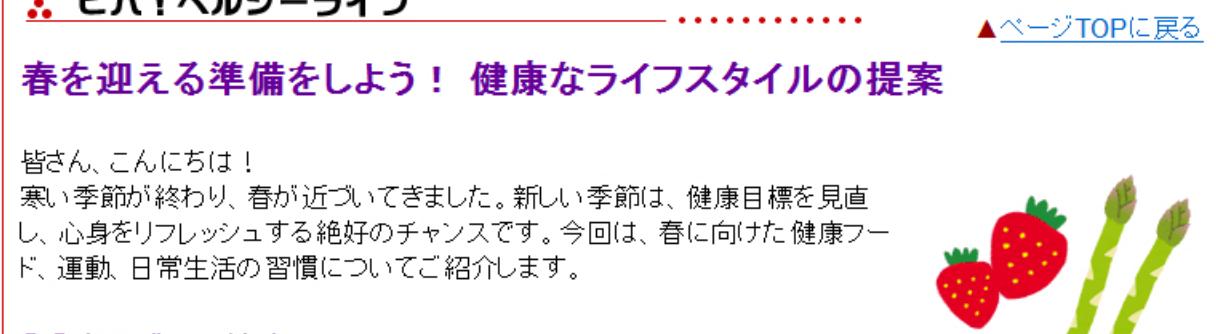


#### ◆ 朝妻航平

次の理由から、自身にとて良い経験だったと振り返ります。災害復興という名前を聞いて、自分が役に立てるのか？という感覚から、身構える、腰が引ける状態だったのですが、実際に現場を行ってみると、何も難しいことはなく、困っていました。

また、現地の方とお話ししてより実情を理解でき、作業を通じてコミュニケーションすることで、自分が被災した側にいたらと思うか、と考えるようになり、常に現地から防災意識を持った動きを始めようと一層思うようになりました。

改めて、能登島含む被災地のいち早い復興を祈ります。



#### ◆ 渡邊儀秀

現地に到着して最初に気づいたことは、災害発生から時間が経過している割に、復旧が進んでいないなって思ってました。

重機が入らないとボランティアだけだと対応が難いところも多かったのですが、周辺部に行けば行くほど災害時の人たちが多くなったように思います。

そういう中でも住民の方々が、元気で明るく過ごされている姿に触れて、少しだけほっとした気持ちになりました。

改めて、能登のみなさんのお役に立てたら嬉しいと思います。

